



2025 年 10 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ラ イ ト オ ン
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 大 峯 伊 索
(コード番号 7 4 4 5 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 木 本 勇
(TEL : 0 3 - 6 8 7 6 - 1 1 1 0)

2025 年 8 月 期 通 期 業 績 予 想 と 実 績 値 と の 差 異、

特 別 利 益 及 び 特 別 損 失 の 計 上 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、2024 年 10 月 8 日に公表しました 2025 年 8 月 期（2024 年 9 月 1 日～2025 年 8 月 31 日）通期業績予想値と実績値に差異が発生いたしました。あわせて、特別利益及び特別損失の計上につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025 年 8 月 期 通 期 業 績 予 想 と 実 績 値 と の 差 異 （2024 年 9 月 1 日～2025 年 8 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (2024 年 10 月 8 日 公 表)	28,100	△1,500	△2,000	△1,800	△52 円 99 銭
実 績 (B)	28,130	△454	△752	△449	△13 円 19 銭
増 減 額 (B - A)	30	1,045	1,247	1,350	—
増 減 率 (%)	0.1	—	—	—	—
(ご参考) 前 期 実 績 (2 0 2 4 年 8 月 期)	38,808	△5,000	△5,166	△12,142	△410 円 52 銭

2. 差異が生じた理由

当期におきましては、売上高は 28,100 百万円（既存店売上高前年比 81.5%）を見込んでおりました。当社は聖域なき構造改革を軸に新たに 2025 年 8 月 期を初年度とする 5 ヶ年の中期経営計画(2024 年 10 月 8 日付公表)を策定し、本計画期間において、徹底的なコスト削減と商品構成の大幅な変更による売上総利益率の改善に注力し、利益重視への抜本的な転換を図ってまいりました。上半期におきましては、品揃えおよび価格帯の多くが前期に発注した商品で構成されていたことから、商品訴求力に欠け、客数の減少が続いた結果、販売は苦戦しました。下半期より商品構成の抜本的な見直しを本格化させる中、新たな品揃えと価格帯の見直しが奏功し客数の減少幅が縮小傾向に転じるなど、商品施策の効果が顕在化したことにより堅調な売上を維持し、売上高は 28,130 百万円（既存店売上高前年比 83.3%）となりました。

売上総利益については、プライベートブランド（P B）比率の拡大、サプライヤーとの協業による P B 商品の仕入

原価率の引き下げに取り組むとともに、値下げ幅の調整や、段階的な実施を継続することで、過度な値下げによる損失の抑制に努めました。加えて当期に見込まれる商品価値の下落を前期末に商品評価損として計上したことも寄与し、売上総利益率は52.0%（期初計画比+0.3ポイント、前年同期比+12.1ポイント）と大幅に改善しました。

また、中期経営計画における重点施策であるコスト構造改革を推し進め、売上に応じた販促活動の最適化、組織のスリム化や店舗人員配置の見直しによる人員削減、業務委託契約の精査、倉庫および店舗間配送頻度の見直しによる物流費の抑制のほか、物流機能および本部機能をそれぞれ1拠点に統合するなど、徹底したコスト削減に取り組んだ結果、販売費及び一般管理費は15,071百万円（期初計画比△948百万円、前年同期比△5,393百万円）と、大幅な削減を実現しました。

以上の結果、営業損失は454百万円（前年同期は営業損失5,000百万円）、経常損失は、資本政策等に関するアドバイザリー費用など、営業外費用345百万円を計上したこともあり、752百万円（前年同期は経常損失5,166百万円）となりました。

最終損益につきましては、有限会社藤原興産からの短期借入金の債務免除にかかる債務免除益等、特別利益を761百万円計上し、共用資産を含む固定資産の減損損失等、特別損失を333百万円計上したことにより、当期純損失は449百万円（前年同期は12,142百万円の当期純損失）となりました。

3. 特別利益の計上について

当社は、2024年8月期（2023年9月1日～2024年8月31日）において事業構造改革における退店計画に伴い発生する損失を店舗閉鎖損失引当金として計上しており、店舗の退店確定に伴い、2025年8月期第4四半期会計期間において、店舗閉鎖損失引当金戻入額38百万円、退職給付制度終了益134百万円を計上したこと等により、当四半期会計期間で計上した特別利益は合計で173百万円となりました。

なお、2025年8月期第3四半期までに既に計上しております特別利益を含めた2025年8月期の特別利益は、761百万円となりました。

4. 特別損失の計上について

当社は、2025年8月期第4四半期会計期間において、共用資産を含む全社の固定資産の減損損失13百万円、水害による災害損失18百万円を計上したこと等により、当四半期会計期間で計上した特別損失は合計で42百万円となりました。

なお、2025年8月期第3四半期までに既に計上しております特別損失を含めた2025年8月期の特別損失は、333百万円となりました。

以 上